１ページ目

横浜市福祉のまちづくり推進会議資料

令和６年２月14日

環境創造局公園緑地整備課

見出し：小柴自然公園インクルーシブ遊具広場の供用開始について

小柴自然公園第1期エリアについては令和５年９月24日に開園し、インクルーシブ遊具広場を供用開始しましたので、利用状況等をご報告します。

１　公園概要

（１）所 在 地　　　金沢区長浜116-2

（２）面積/種別　 　約55.8ha／広域公園

（３）主な施設　　　草地広場、多目的広場、管理棟、駐車場等

（４）事業予定　　　平成26～令和14年度（2014～2032年度：19か年計画）

小柴自然公園を上空から見たイラスト。各エリアごとに色分けされており、緑色が第１期エリア。オレンジ色と水色が第２期エリア。紫が第３期エリア。

・北西側に自然環境保全エリア（水色の第二期。エリア内には自然環境保全ゾーンがある）

・中央に活動・体験・学習エリア（紫の第三期。エリア内には緑化・環境体験・学習ゾーン、タンク広場ゾーンがある）

・南側に里山空間再生エリア（オレンジ色の第二期。エリア内には展望広場ゾーン、里山農体験ゾーン、谷戸空間再生ゾーンがある）

・東側には、他全てのエリアに沿うように、緑の広場空間創造エリア（緑色の第一期）が長細く延びている（エリア内には多目的レクリエーション広場ゾーン、センター広場ゾーン、草地広場ゾーン、小柴埼緑道の一体整備、エントランスゾーンがある）

１ページ目エンド

２ページ目

２　インクルーシブ遊具広場の利用状況について

インクルーシブ遊具広場は、障害の有無などに関わらず、すべての子どもたちが一緒に遊べることを目指した遊具広場です（別添資料参照）。９月23日に市長出席のもと開園式（テープカット、遊具広場体験会）を行い、翌24日より供用開始しました。

平日は、午前中から午後の早い時間に未就学児の利用が多くなっています。また、午後3時以降は近隣小学生を中心に多くの利用が見られます。休日は家族連れの利用が多くなっています。車両での来園が多く、市外ナンバーの車両も多くみられます。また、WebサイトやSNSでも取り上げられています。

以下４枚の写真。

左上写真では、市長と関係者がテープカットをしている。手前には子供たちが写っている。

右上写真では、車いす使用やそれ以外の子供たちが一緒に遊具に乗って遊んでいる

左下、右下写真では週末、親子連れで公園に訪れる人々が写っている

３　今後について

　小柴自然公園は横浜市で初めてのインクルーシブ遊具広場となるため、利用状況や施設の使いやすさ等について、利用者へのヒアリングや行動観察による効果検証を進めています。調査は今年度から令和6年度にかけて継続して実施し、今後の施設運営等に活用します。

（別添資料）

　・記者発表資料「小柴自然公園第1期エリアが開園！」（令和5年8月28日）

・小柴自然公園マップ

・広報よこはま11月号

２ページ目エンド